

● 三島市郷土資料館企画展 ●

古代伊豆国

― 国府と国分寺 ―

こ
だ
い
い
ず
の
く
に



国分寺創建期の軒丸瓦

令和4年 **10/15** 土

令和5年 **1/29** 日

- 主な展示資料…伊勢堰遺跡出土の墨書土器、箱根田遺跡出土の祭祀遺物、伊豆国分寺跡出土の創建期の瓦、
「伊豆国正税帳」※（正倉院古文書複製、国立歴史民俗博物館蔵・原品：宮内庁正倉院事務所蔵）など
※会期中展示替えあり 第1期：10/15～11/17、第2期：11/18～12/18、第3期：12/20～1/29
- 展示解説…各回 30分程度・申込不要
12月11日(日) 11時～/13時30分～、1月8日(日) 11時～/13時30分～

市立公園
楽寿園の中!

車イス・
ベビーカー
OK!

三島市郷土資料館

開館時間 9:00～17:00(11月以降9:00～16:30)
※楽寿園の入園は閉館 30分前まで

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12/27～1/2
※10/31・11月中の月曜・1/3は企画展示室のみ開館

入館料 無料(ただし楽寿園入園料として15歳以上300円が
必要、学生は学生証提示にて無料)

〒411-0036 静岡県三島市一番町19番3号 楽寿園内

TEL 055-971-8228 FAX 055-971-6045

交通アクセス JR三島駅南口から徒歩5分 市立公園楽寿園内



いずのくに
古代、都から遠く離れたこの三島の地は、伊豆国の中心地としてどのような景観を呈していたので
しょうか…？

緊迫する東アジア情勢の中、古代国家は中国から律令制度を導入し、官僚機構の整備、身分制の再編、
戸籍や租税制度の確立などを進め、地方でもそれを実行に移すための行政組織を整備していきました。

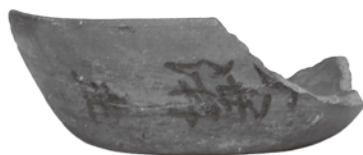
現在の静岡県域には遠江・駿河・伊豆の3つの国が置かれ、三島は伊豆国の国府（統治の拠点）
に定められて国庁（庁舎）が造営されました。都から地方行政を担う国司（役人）が派遣され、地元の有力
者たちは中央集権的国家体制のもとで再編されていきます。伊豆国内で生産された特産物などは国府
に集められて中央へ運ばれ、中央一地方の往来が活発化して、人・モノ・文化が混じりあっていきまし
た。天平13年（741）には聖武天皇による国分寺建立の詔を受け、三島市域にも国分寺・国分尼寺が設
置されることとなりました。

本企画展では、律令制下における三島の様子について、国府や国分寺に関する遺跡の出土資料を
中心にご紹介していきます。

- 主な展示資料…伊勢堰遺跡出土の墨書土器、箱根田遺跡出土の祭祀遺物、伊豆国分寺跡出土の創建期の瓦、
「伊豆国正税帳」※（正倉院古文書複製、国立歴史民俗博物館蔵・原品：宮内庁正倉院事務所蔵）など
※会期中展示替えあり 第1期：10/15～11/17、第2期：11/18～12/18、第3期：12/20～1/29



上才塚遺跡 調査区全景
(国司館跡推定地)



伊勢堰遺跡出土 墨書土器「大溝主」



箱根田遺跡出土 人面墨書土器

展示解説 (各回30分程度・申込不要)

12月11日(日) 11時～/13時30分～、1月8日(日) 11時～/13時30分～

この次の企画展は…

「三島ゆかりの文化人たら(仮)」

2023.2.11(土祝) ▶ 5.28(日)

幕末・明治を生きた文化人たちの手による書や絵画をご紹介。
郷土の自然や歴史がはぐくんだ文芸をご覧ください。
滝之本連水・孤山堂卓郎・賛川他石etc.



三島市郷土資料館
Facebook

